

BOSE

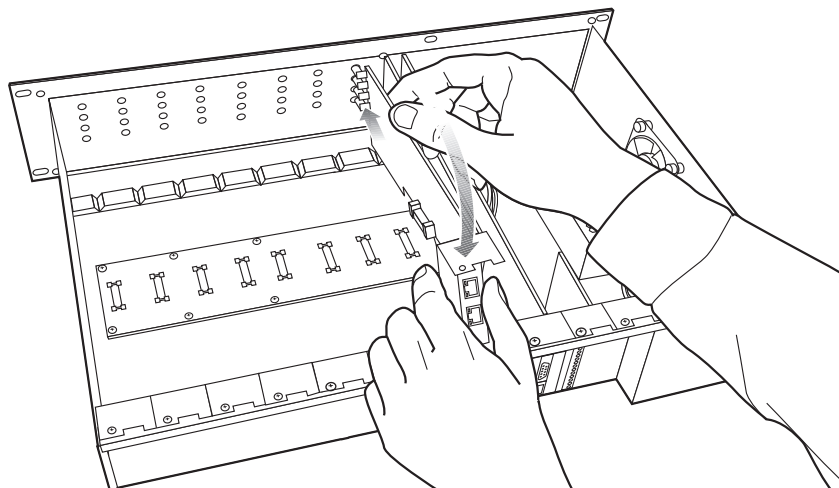
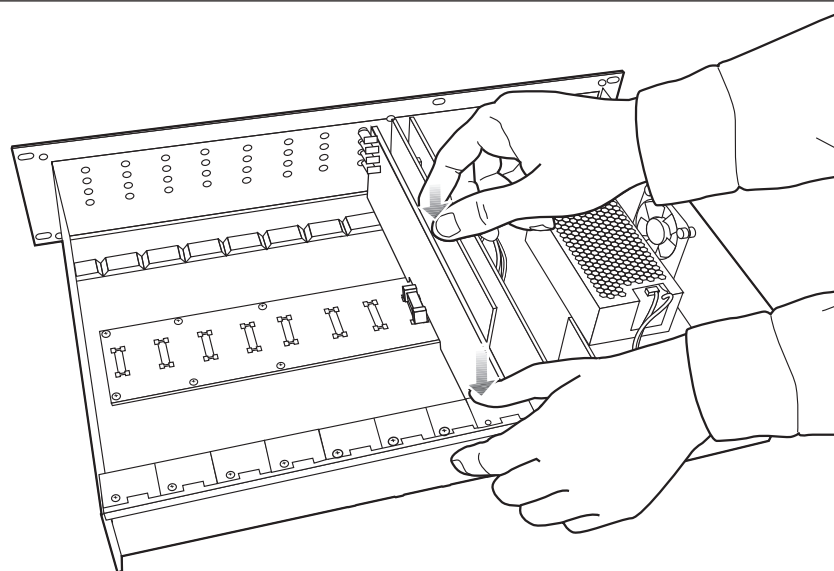
ControlSpace® CobraNet® Digital Audio Interface カード

- ⚠ 注意：専門の技術者、または、弊社の認める講習を受けた方以外は決して作業を行わないでください。
- ⚠ 注意：システムまたはアクセサリを改造しないでください。許可なく製品を改造すると、システムの安全性と性能が損なわれるだけでなく、法令遵守の問題が生じ、製品保証が無効となる場合があります。
- ⚠ 注意：システムの配線には、シールド付き CAT-5 ケーブルをご使用ください。
- ⚠ 注意：本製品は、ESD (Electrostatic Discharge：静電気放電) の影響を受けやすい機器です。取り扱いには注意してください。

重要な注意事項

ControlSpace CobraNet 拡張カードは、それに対応した ESP のみで使用することができます。対応につきましては、ESP 本体の背面に記載されているシリアルナンバーをご確認ください。ESP-88 の場合、最初の 6 桁が「050137」であるセットが CobraNet 拡張カードに対応しています。また ESP-00 では、同じく「050138」であるセットが対応しています。

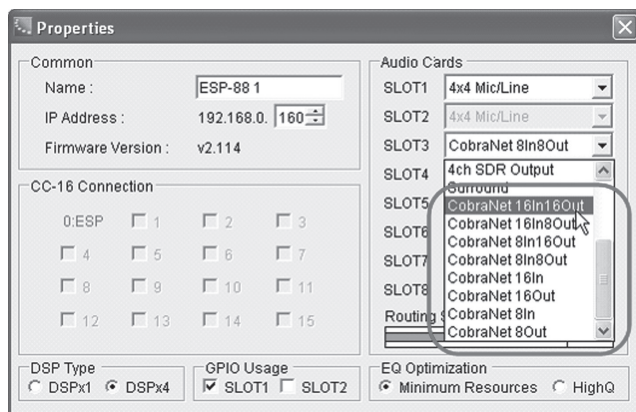
1. ESP の電源をオフにして電源コードを抜き、8 本のネジを取り外して天面カバーを外します。
2. 2 本のネジを取り外して（これらのネジは後ほど使用します）、ブランクパネルを取り外します。CobraNet 拡張カードをこのブランクパネルと交換します。
3. 本体ケース内にカードを配置します。カードの LED の位置が本体ケース前面の穴の位置と合っていることを確認します。また、カード側面のコネクタの位置がマザーボード上のコネクタの位置と合っていることも確認します。ケース底部の黒い取り付けガイドを使用し、溝を利用してカードの位置を決定します。図 1 をご参照ください。
4. カードのコネクタの位置とマザーボードのコネクタの位置を合わせて、ゆっくりと押し込みコネクタ同士を接続します。図 2 をご参照ください。
5. カードを先ほど取り外した 2 本のネジで固定します。
6. 天面カバーを元に戻し、8 本のネジを締めます。
7. 電源コードを差し込み、ESP をオンにします。

図 1**図 2**

8. ControlSpace® Designer™ ソフトウェア (バージョン 2.3 以降) を使用して、カードが適切に挿入されたことを確認します。
- スキャンを押して、ソフトウェアによってカードが検出されることを確認します。
 - カードが適切に取り付けられた場合は、ESP を右クリックしてそのプロパティを表示すると、ESP 内の適切なスロットに **CobraNet** が表示されます。ここから使用する CobraNet の Input /Output 設定を選択できます。図 3 をご参照ください。

9. エラーメッセージが表示される場合やソフトウェアによって適切に **CobraNet** 拡張カードが検出されない場合は、取り付けの手順を繰り返してください。カードが完全にコネクタに押し込まれていることを確認し、本体ケース内でカードが適切に配置されていることを確認してください。

図 3



ボーズ株式会社 <http://www.bose.co.jp/>
〒150-0036 東京都渋谷区南平台町16-17 渋谷ガーデンタワー 5階

お客様専用ナビダイヤル ☎ 0570-080-021
PHS、IP電話からは、Tel 03-5489-0955へおかけください。

- 仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。
- 弊社取扱以外の製品は、保証の責任を負いかねますのでご注意ください。

BOSE
Better sound through research